

平成27年度沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス・
アドバイザリー委員会（第2回）の議事概要について

1. 日 時：平成28年3月23日（水） 13時～15時

2. 場 所：事業審査室（4階）

3. 出席委員：委員長 阿波連 光 弁護士
委員 友利 果苗 税理士
委員 平敷 卓 沖縄国際大学講師

4. 議事概要

(1) 平成27年度開沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス推進計画
実施報告（最終）（案）について

(2) 平成28年度開発建設部コンプライアンス推進計画（案）について

(3) コンプライアンス推進計画に関する今後の主な予定（案）について

5. 各委員からの主なご意見等

○推進計画実施報告（最終）（案）について

・「推進本部長（次長）からのメッセージ送付等」について、コンプライアンスの取り組みにおいては、取り組み・指導、周知をしっかりと行うことが大事。民間のセクハラ事案の裁判で、会社側が防止の取組み、指導をどれだけ行っていたかが問題になった。

次長メッセージだけでよしとせず、事務所毎での取組み、指導を徹底することも大事。

・「コンプライアンス講義の充実化」について、研修は全員受講しているか？

→研修によって、受講率はことなる。飲酒運転防止セミナー、入札談合等
関与防止法に関する研修会などは、昨年・今年ほぼ同内容で実施し、2年
間で全職員の7割程度が受講している。

・研修は全員が受講することが大事。例えば5年間でこの研修は必ず1度は
受講するなど、同じテーマで全員が必ず受講し、これを更新していく。ま
た、DVDなどを活用し、もれなく受講させていく取組みが必要。

・発注者保持規程等の認知度アンケート等については、理解度を確認するセ
ルフチェックシートなどを作成し、内容などの理解度等について、じぶん
で、随時、手軽にチェックできるようにすると良い。

・「外部講師による講習」について、どのような講師を考えているか？

→他地方整備局の事例を参考に、国土交通大学校の講師等の招へいを検討している。また、当委員会・阿波連委員長へもお願いしたいと考えている。

○平成28年度推進計画（案）について

- ・平成28年度推進計画には新規事項もいくつか盛り込まれているが、コンプライアンスの取組においては、ミーティングの充実等を通して、コンプライアンス意識を高める取組が大事である。これまでの取組みを継続し、着実に推進することも大事。
- ・リスクを抑える取組みでモチベーションを上げるのは難しい。取組みの工夫が必要。悪いことを起こさないという取組みというより、組織として必要なことをしっかりやっているかが大事である。
- ・各職場におけるリスク回避等マニュアルについては、セルフチェックシート等による自己点検や点検結果に基づき必要な対応改善が行われているかを確認することが必要。それに加えて監査機関による監査を実施することも大事。
- ・セルフチェックや監査結果において、マニュアル通りに行われていない場合は改善する。マニュアル通りにできない場合、また、マニュアルがその職場の現状に適しないものである場合などは、その理由を報告させるようにした方が良い。